



第4回

障がい者の

意思決定支援

を考える

市民セミナー2025

「協働の可能性」

- 精神保健福祉編 -

2025年9月12日(金) 13:30~16:30

先着100名様 参加費 無料

会場 中部学院大学 関キャンパス 2304教室
(岐阜県関市桐ヶ丘2-1)

第1部

基調講演

13:40~14:40

「ピアサポートが開く協働の扉

～当事者が当事者を支える未来～」

講師: 柳 尚夫 氏(岐阜県精神保健福祉センター所長)

第2部

パネルディスカッション

14:50~16:25

「協働の魅力、阻む障壁」

【パ当事者 (クラブハウスゆうせん メンバー)

ネ高井 悠貴 氏 (クラブハウスゆうせん スタッフ)

リス松田 孝 氏 (障害福祉サービス事業所ハートブリッジ、精神保健福祉士)

ト安江 一樹 氏 (のぞみの丘ホスピタル、精神保健福祉士)

□ コメンテーター: 柳 尚夫 氏

□ コーディネーター: 加藤 大輔 (中部学院大学 人間福祉学科)

〈主催〉中部学院大学 人間福祉学部 人間福祉学科

〈後援〉岐阜県精神保健福祉士協会、岐阜県社会福祉士会、岐阜県ソーシャルワーカー協会 ※予定

障がい者の意思決定支援を考える市民セミナー2025

「協働の可能性 - 精神保健福祉編 - 」

現在、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を目指すという理念のもと、精神障害の有無にかかわらず、誰もが安心して、自分らしく暮らすことができるよう、医療、看護、介護、障害福祉などの領域が連携を図りながら多角的・多面的に取り組んでいます。一方で、現実には、精神疾患や精神障害を有する人たちを支える側の役割が曖昧であったり、重なり合いを欠いた断片的なアプローチになってしまっている部分も否めない状況です。

精神障害者だけでなく、生きづらさを抱えている人たちの支援においては、「当事者の声をまずは聴く」「共に考え、行動する」という視点や姿勢が大前提となりますが、これは意外と難しく、忘れてしまう部分でもあります。そこで、今回のセミナーでは、精神保健福祉領域における『協働』をキーワードにしながら、当事者と専門職の関係性、専門職の役割と限界、当事者同士のつながりや可能性について分かち合う機会にしたいと考えています。

精神疾患や精神障害を有する方やそのご家族、障害福祉サービス事業所、精神科病院、訪問看護ステーション、市役所、保健所などで精神保健医療福祉の業務に携わっている方々のご参加をお待ちしています。

【申込用紙】

■申込方法:必要事項をご記入のうえ、申込期限までに封書、FAXまたは右記の二次元コードからお申込みください。

■申込先:中部学院大学 地域産学連携課
〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地
TEL0575-46-7158 FAX0575-24-9432

■申込期限:2025年9月5日(金)



<申込用 二次元コード>

お名前	
ご所属 (勤務先・団体等)	
ご連絡先(任意)	
その他の参加者	
配慮を希望する事項	☐ 車いすの利用 ☐ 手話通訳 ☐ その他()
ご質問等	